

2014年9月1日

キヤノンマーケティングジャパン、AZEの全株式を取得し完全子会社化

キヤノンマーケティングジャパンは、株式会社AZE(の全株式を取得した。これにより、AZE社の得意領域である3D医療画像解析技術を生かした医療画像ソリューション事業を展開していく。

同社は、2011年10月に医療市場で強力な営業基盤と販売網を持つ株式会社エルコーポレーション(現キヤノンライフケアソリューションズ株式会社)を完全子会社化し、2013年1月に自社開発のPACS(医用画像システム)「Primitus(プリミタス)シリーズ」を市場投入するなど、医療画像ソリューション事業を強化してきた。

今回、3D医療画像解析技術に強みを持つAZE社をグループに迎え入れ、AZE社の医療画像に特化した技術とキヤノンマーケティングジャパングループの医療ITシステムを融合することで、より付加価値の高い医療ソリューションを創出していく。

具体的には、医療業界で高い評価を得ており市場競争力の高い3D医療画像解析システムや読影専用ボリュームビューアなどを、AZE社の販売網に加えて医療事業中核企業のキヤノンライフケアソリューションズ社の広範な営業基盤で販売展開し、ビジネスを拡大させていく。

また、AZE社の圧倒的な差別化技術と開発力を獲得することにより、既存のソリューションに加えクラウド型の医療画像解析サービスを今後展開していく上での大きな推進力となる。

さらに、全国の国公立病院49施設を始めとする1,000施設以上のAZE社の有力顧客基盤に対し、キヤノンマーケティングジャパングループが保有するデジタルラジオグラフィCXDIなどの医療イメージング機器を販売展開することが可能になる。

＝新医療＝

以上